

令和7年度徳島県小学校道徳教育研究大会

自己の生き方についての考えを深め、
よりよく生きる子供を育てる道徳教育
～主体的に考え、伝え合い、共に伸びる 道徳科授業～



鳴門市林崎小学校

研究の背景

本校のよさ

- **素直**な子供が多く課題に**真面目**に取り組むことができる
- 学校生活の中で**相手を思いやる**ことができる子供が多い
- **地域が協力的**であり、以前から地域と連携した活動を多く実践している



研究の背景

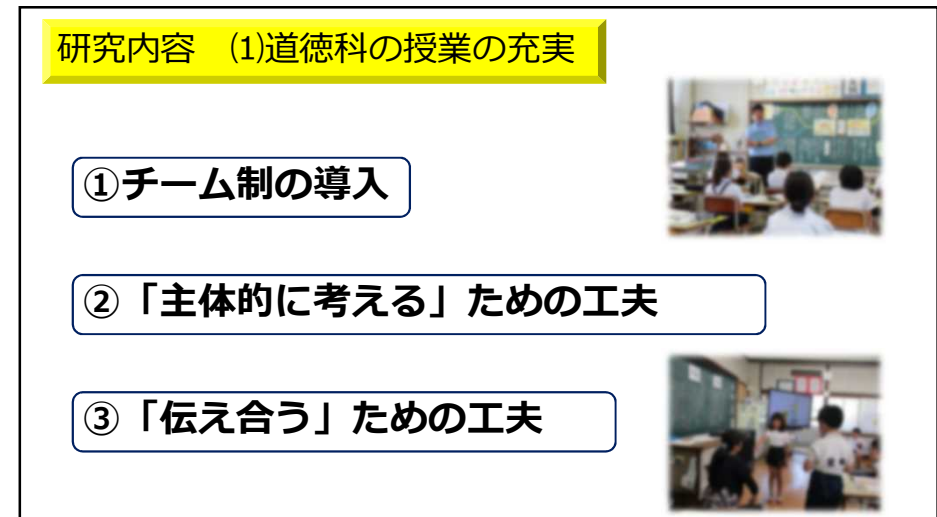
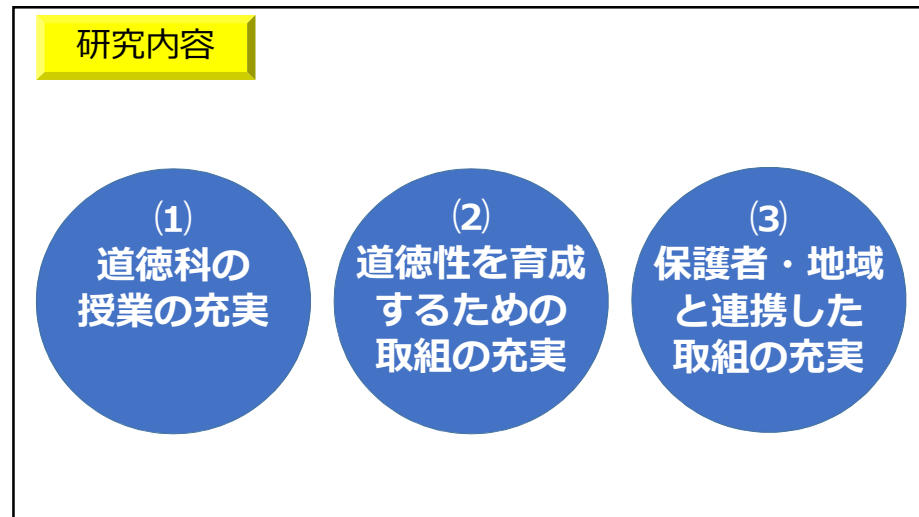
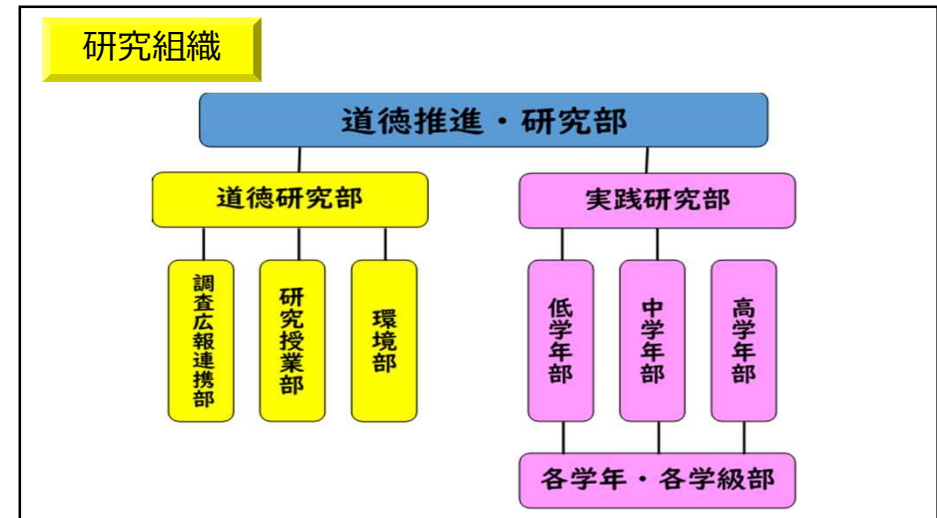
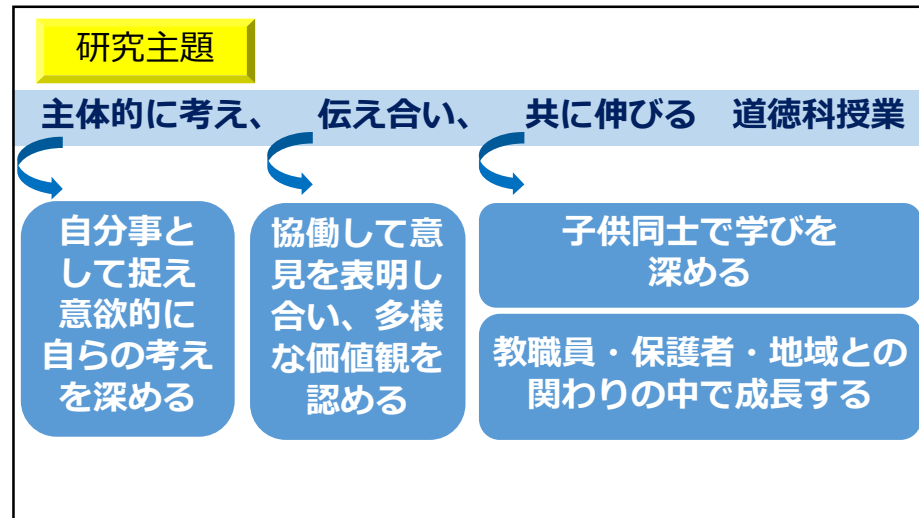
本校の課題

- 指示された内容については頑張ることができるが、**自ら主体的に考える**ことが不得意な子供が多い
- 学校生活の中で、自分の思いや考えがあるものの、それを**表現する**ことが不得意な子供が多い

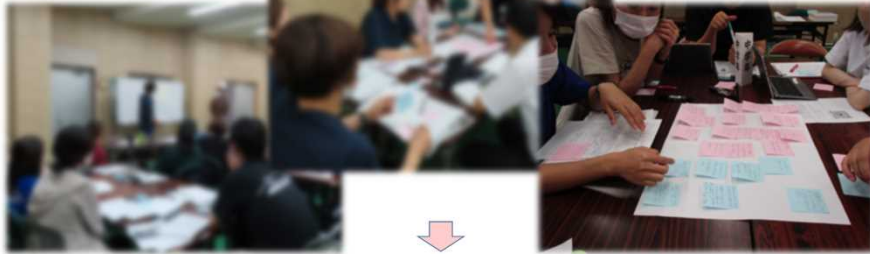
研究主題

自己の生き方についての考えを深め、
よりよく生きる子供を育てる道徳教育

**主体的に考え、伝え合い、共に伸びる
道徳科授業**



研究の柱① 道徳科の授業の充実

チームで授業を
「考える」

各チームでの協議で、「自分ならば」という視点で
よりよい授業の実現

研究の柱① 道徳科の授業の充実

②「主体的に考える」ための工夫

【授業構想シート】

① 教科書 お母さんの手紙	② 内容項目 A B C D - (4)	③ 展開 導入 お母さんの手紙は、 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で	④ 展開 お母さんの手紙は、 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で
⑤ 授業のねらい お母さんの手紙を 読んで、お母さんの 手紙の気持ちに なってみよう。	⑥ 展開 お母さんの手紙は、 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で	⑦ 展開 お母さんの手紙は、 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で	⑧ 展開 お母さんの手紙は、 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で 「お母さんの手紙」で

「授業のねらい」
「板書」「展開の
概要」等を記載する
ことで、より**内容の
焦点化**を図る



子供が主体的に考えら
れるための授業づくり
の手立てとなった

研究の柱① 道徳科の授業の充実

②「主体的に考える」ための工夫

【道徳ノート】

六 月 二 日 道 徳 科 二 年 級

い い い い い い

お母さんの手紙

お母さんの手紙は、
「お母さんの手紙」で
「お母さんの手紙」で
「お母さんの手紙」で

お母さんの手紙は、
「お母さんの手紙」で
「お母さんの手紙」で
「お母さんの手紙」で

お母さんの手紙は、
「お母さんの手紙」で
「お母さんの手紙」で
「お母さんの手紙」で

授業のふりかえりの
観点を示す



子供が授業で得たこ
とを言語化すること
で、さらに深い学び
へとつながった

子供の道徳ノートから

研究の柱① 道徳科の授業の充実

このなにかおぼえたいことはありますか？
おぼえたいことは、親切とやさしいことです。
親切とやさしいことは、人を助けることです。
親切とやさしいことは、人を助けることです。
親切とやさしいことは、人を助けることです。
親切とやさしいことは、人を助けることです。
親切とやさしいことは、人を助けることです。
親切とやさしいことは、人を助けることです。

親切とおせっかいの違いがよく
わかりました。まず、親切とは、
人と助けたりゆずってあげたりす
ること、相手も自分もいい気分
になります。おせっかいは、相手
がやらなくていいよや、やめてな
どというふうに相手は嫌な気持ち
なのに、しつこくすることです。
よくも困っている人がいたら、お
せっかいではなく親切にしようと思
います。

子供の道徳ノートから

研究の柱① 道徳科の授業の充実

ふりかえり 弱い自分に負けないために大切なことは何だと思いますか。

よい自分に負けないために大切なことは、目標を立てて、やり続けることだと思います。目標を立てて、やり続けることで、次はもっとすごい目標を立てて、「自分は百点を取れたんだ」と思ったら、次の目標も達成しやすくなると思います。私も、これから、立てた目標を絶対に達成したいです。

弱い自分に負けないために絶対にやるぞと決めて、なにがあってもやり続ける。ずっとやり続けて、やっと目標が達成できると、次はもっとすごい目標を立てて、「自分は百点を取れたんだ」と思ったら、次の目標も達成しやすくなると思います。私も、これから、立てた目標を絶対に達成したいです。

③「伝え合う」ための工夫

研究の柱① 道徳科の授業の充実

役割演技



③「伝え合う」ための工夫

研究の柱① 道徳科の授業の充実

ペア・グループ学習



③「伝え合う」ための工夫

研究の柱① 道徳科の授業の充実

ICTの効果的な活用

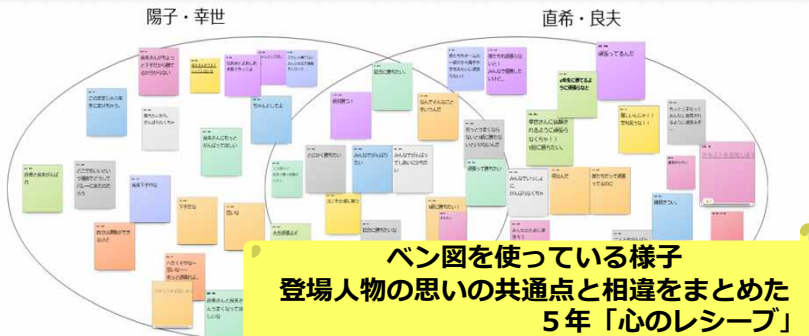


Padletを使って意見交流を行っている様子
「いいねボタン」を使って共感を伝え合った
6年「手品師」

③「伝え合う」ための工夫

研究の柱① 道徳科の授業の充実

思考ツールの活用



研究内容 (2)道徳性を育成するための取組の充実

①ポジティブ行動支援（PBS）を取り入れた「聞く力」の育成

②林崎小「大きな花」プロジェクト

③今月の歌

④あいさつ運動

⑤環境整備



研究の柱② 道徳性を育成するための取組の充実

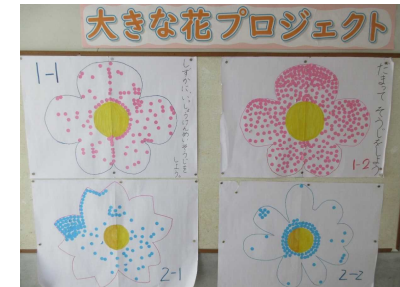
①PBSを取り入れた「聞く力」の育成



子供がお互いに自らの考えを表現し合うことができる学級づくりのため、「聞くこと」ができる力の育成を図る

研究の柱② 道徳性を育成するための取組の充実

②林崎小「大きな花」プロジェクト



6年生が設定した月目標を達成できた子供が、花の絵に1日1枚シールを貼っていくことで、望ましい活動を可視化する

研究の柱② 道徳性を育成するための取組の充実

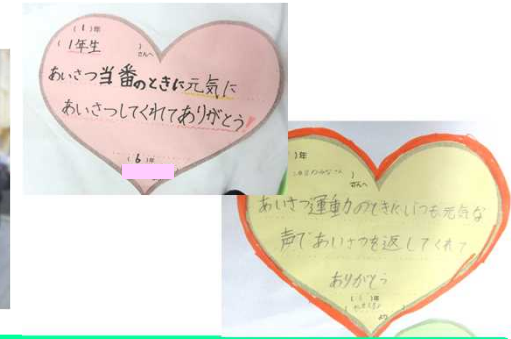
③ 今月の歌



6年生が選んだ歌の歌詞を改めて読み、内容を理解するとともに、自分たちの生き方を見つめ直すことで、**豊かな心を育むことにつなげる**

研究の柱② 道徳性を育成するための取組の充実

④ あいさつ運動

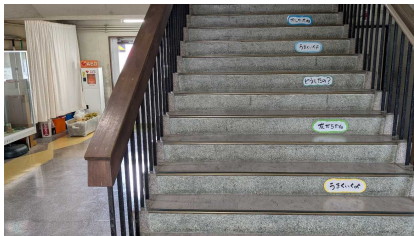


あいさつを通して「感謝の思い」を伝えることができる人になることを目標として、6年生と人権・いじめ防止委員会が取り組んでいる

研究の柱② 道徳性を育成するための取組の充実

⑤ 環境整備

「ふわふわ言葉」を掲示



聞いた人の心を軽やかで優しい気持ちにしてくれる言葉「ふわふわ言葉」を掲示することで、心を豊かにし、思いやりの意識を醸成する

研究の柱② 道徳性を育成するための取組の充実

⑤ 環境整備

各学級に「どうとくの木」を掲示



授業で学んだことがどの内容項目に当てはまるものなのかを再確認することで、さらに学びが深まり実践意欲を高めることにつなげる

研究内容 (3)保護者・地域と連携した取組の充実

①道徳のびっ子カード

②「学年だより」による保護者との連携

③地域と共に取り組む活動

④幼稚園との交流



研究の柱③ 保護者・地域と連携した取組の充実

①道徳のびっ子カード

どうとくのびっ子カード	どうとくのびっ子カード
2がっきの どうとくのびっ子カードを 読みかえりましょう。 どうとくのびっ子カードでがんばったこと 念表すること、思、たことを書く かきかえりましょう。	2がっきの どうとくのびっ子カードを 読みかえりましょう。 どうとくのびっ子カードでがんばったこと 「はじめて、小鳥がとんだときの 道とくで、小鳥が、どうしてとんだのかを、考えるのを、がんばりま

各学級で道徳科授業等の取組を行った後、学期末に個人の振り返りとして活用した保護者への啓発・連携促進にも活用した

研究の柱③ 保護者・地域と連携した取組の充実

①道徳のびっ子カード

保護者の感想例（一部抜粋）

だれかとケンカになった時、相手の気持ちを考えることは、とても大切なことだと思うし、少しむずかしいことでもあるだろうね。それに気付くことができてよかったなと思うよ。

相手の立場になって（目線になって）考えることを学んだと聞き、成長したなと思いました。相手の心も自分自身の心も大切にして、これからも過ごして下さい。

研究の柱③ 保護者・地域と連携した取組の充実

②「学年だより」による保護者との連携

～道徳「じゃがいもの歌」～

「じゃがいもの歌」の学習を通して、一人一人によさがあることを学びました。自分のよさに目を向け、自分自身の「すてき」を発見することができました。

～道徳「三つの国」～

「三つの国」の学習を通して、国によって文化や習慣は違うけれど、それぞれに独自のよさがあることを学びました。「みんなが違っていい」という言葉の深さを改めて実感し、互いのよさを認め合おうという心が育ちました。

月ごとに発行している、各学年の「学年だより」に実際の道徳科授業の様子を掲載し、保護者との連携を深めた

研究の柱③ 保護者・地域と連携した取組の充実

③地域と共に取り組む活動

環境教育（4年生）



地域の環境保全の大切さについて考える機会として、地域ボランティアの人と一緒にいった

研究の柱③ 保護者・地域と連携した取組の充実

③地域と共に取り組む活動 ～三世代交流～

七夕ふれあい集会



クリスマス会



地域の方とのふれあいにより子供の自己肯定感や自己受容感の向上につながっている

研究の柱③ 保護者・地域と連携した取組の充実

④幼稚園との交流

じゃがいも掘り（1年）



運動会での合同種目（5年）

幼稚園・地域と連携した合同避難訓練

幼稚園と隣り合った立地を有効に生かし、幼稚園と計画的に交流しており、多様な交流が自己を見つめ直すよい機会となっている

成果と今後の課題

研究の成果

工夫された発問でより主体的に考えを積極的に伝える姿勢
教職員チームの授業力向上

道徳科の授業の充実

多様な価値観を認め合い共に成長していこうとする姿

道徳性を育成するための取組の充実

連携が深まり道徳性を育む確かな基盤に

保護者・地域と連携した取組の充実

今後の課題

- 子供の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、評価する方法の研究
- さらなる授業改善の推進
- 他の教育活動や体験活動と関連させた道徳教育の推進

